

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和8年5月29日

部局等名	経営総務部	課かい名	行政総務課	推進責任者氏名	石井 智裕
------	-------	------	-------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	ノー残業デーの実施を推進し、時間外勤務の削減に努めたが、業務の関係で実現できない時期があった。また、帰宅時にはPC、プリンター、コピーの電源や不要な照明等がないかチェックし、電気量の削減を心がけた。
	具体的内容	ノー残業デーの実行を徹底します。昼休みは消灯します。	
2	取組項目	C. 廃棄物の削減	物品等は、計画的に購入し無駄のない物品購入を行った。また、物品ごとにラベルした引き出しに入れて見やすい様に管理し適切な在庫管理を行った。
	具体的内容	物品等は、計画的に購入し、適切な在庫管理を行います。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	ペーパーレス化の推進のため、印刷は、両面印刷・集約印刷・裏面の利用を基本とした。課共通の裏紙用・資源ごみ用・プラスチック用・燃えないごみ用とそれぞれ箱を用意し分別を行い、週1の頻度でチェックを行い正しい分別方法への理解と資源の有効利用を図った。
	具体的内容	ペーパーレス化を推進します。印刷は、両面印刷・集約印刷・裏面の利用を基本とします。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

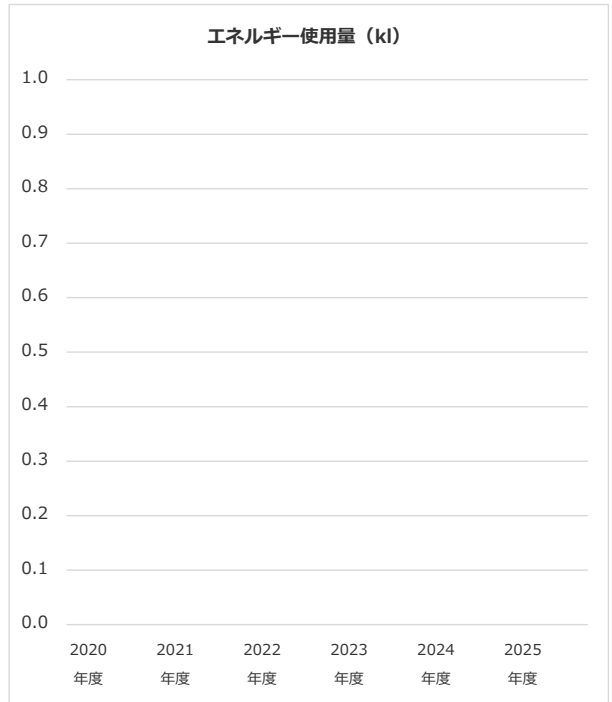
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月22日に実施（対象者9名中9名参加）。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	0
新任・異動者研修	■ 実施	4月27日に実施（対象者2名全員参加）。C-EMSの概要と課かにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和8年5月29日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
・ノー残業デーの実施を推進し、時間外勤務の削減に努めたが、業務の関係で実現できない時期があった。また、帰宅時にはPC、プリンター、コピーの電源や不要な照明等がないかチェックし、電気量の削減を心がけた。 ・ペーパーレス化の推進のため、印刷は、両面印刷・集約印刷・裏面の利用を基本とした。課共通の裏紙用・資源ごみ用・プラスチック用・燃えないゴミ用とそれぞれ箱を用意し分別を行い、週1の頻度でチェックを行い正しい分別方法への理解と資源の有効利用を図った。	・資源の有効利用として分別箱の活用など今までの行った良い取り組みは、引き続き実施していく。 ・業務の関係で実現できない時期があったノー残業デーの実施を推進し、時間外勤務の削減を行うことにより、エネルギー使用量の削減に努める。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和8年5月19日

部局等名	経営総務部	課かい名	職員課	推進責任者氏名	鈴木 章浩
------	-------	------	-----	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	離席時にはパソコンのモニターをスリープモードにするようにしました。また、コピー機も節電モードにするように心がけ、省エネルギーに務めました。
	具体的内容	長時間離席するときは、PCモニターをスリープモードにするほか、使用していない機器の節電も意識して行います。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	必要不可欠な書類を除き、電子媒体とするように努めました。また、情報の共有化するために、チャット、デスクネット閲覧機能、システム供覧を利用しました。
	具体的内容	紙で提供する必要のない情報や資料等はペーパーレス化に努めます。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	配備職員の貸与被服についてはリユース品を使用しました。ファイルについては背表紙を書き換えて再利用して、封筒については通送封筒として再利用しました。
	具体的内容	貸し出し用の被服については、再利用を進めます。また、ファイルや封筒、その他の事務用品は繰り返し使用(リユース)します。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

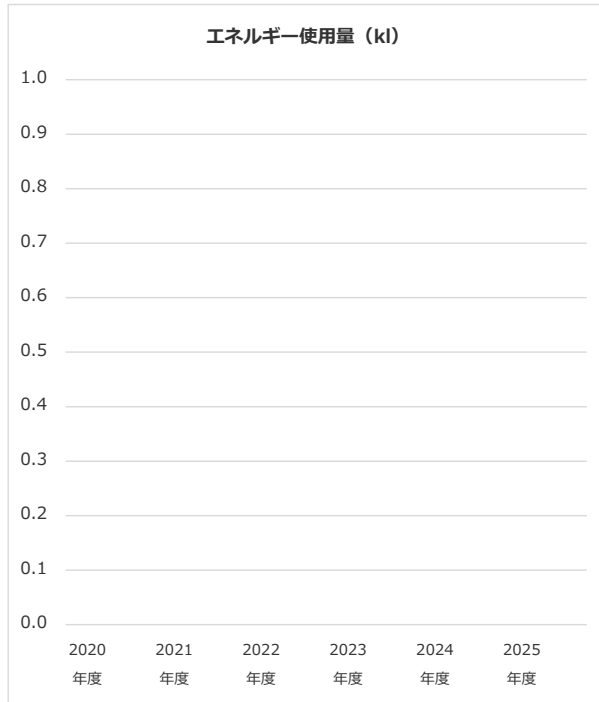
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	4月に、本年度の重点項目、取組目標、具体的内容について確認を行いました。
法令遵守確認研修	(選択してください) 0	
新任・異動者研修	■ 実施	4月に、本年度の重点項目、取組目標、具体的内容について確認を行いました。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 8年 5月19日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
課内で共通認識をはかり、エコオフィスルールの取組を引き続き進めました。その結果、環境意識の醸成をはかることができました。	ごみの分別、パソコンのスリープモードなどの個人で対応できる取組について継続し、また随時課内で声を掛け合い、引き続き環境意識の高い職場環境作りを進めていきます。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日: 令和8年5月28日

部局等名	経営総務部	課かい名	文書法務課	推進責任者 氏名	大滝 朋宏
------	-------	------	-------	-------------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	年間をととして、各職員が意識し、実践することができた。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しないときは電源を切るほか、短時間の離席時はノートパソコンのふたを閉じることを徹底する。また、課内最終退出者はプリンター等の電気機器の電源が切られていることを確認し、執務室の消灯をする。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	年間をととして、各職員が意識し、実践することができた。
	具体的内容	印刷する時は両面印刷や集約印刷、裏紙の利用を徹底する。また、紙で提供する必要のない資料等は電子化して共有する。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	ファイルや封筒、事務用品の整理を行い、使用不可能なものは廃棄し、リユース可能なものをリユースしやすい配置となるよう工夫した。また、資源物の排出については、各職員が意識し、実践することができた。
	具体的内容	ファイルや封筒、事務用品は繰り返し使用(リユース)する。また、古紙や缶・びん・ペットボトル等の分別排出・リサイクルを徹底する。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

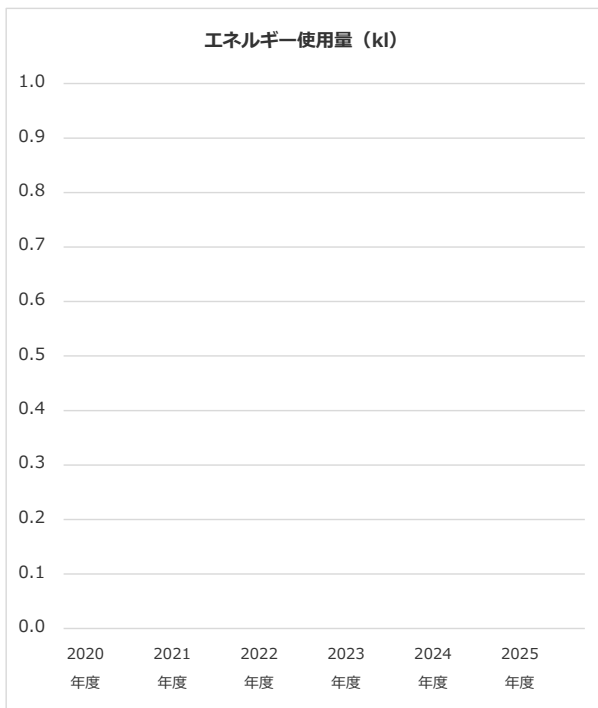
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	朝礼等を通じて6月10日に実施
法令遵守確認研修	■ 該当なし	0
新任・異動者研修	■ 該当なし	朝礼等を通じて6月10日に実施
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和8年5月28日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
年間を通じて、職員一人一人が取組目標の達成に向け主体的に行動し、実践した。	必要に応じて啓発を行うなどして、引き続き主体的な取組が行われるように努めていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和8年 5月26日

部局等名	経営総務部	課かい名	財政課	推進責任者氏名	永倉 政宏
------	-------	------	-----	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	離席時にはパソコンのモニターをスリープモードにするようにできた。 また、コピー機も使用後は節電モードにすることが定着した。
	具体的内容	PCをこまめにスリープモードにしたり、コピー機を利用した後は必ず節電ボタンを押すなど日ごろから意識的にエネルギー使用量を抑制した執務の遂行を行う。	
2	取組項目	C. 廃棄物の削減	ごみの分別を適正に行うことで廃棄物の削減に貢献できた。 また、飲み物についてはマイボトルの定着によりごみの発生頻度自体が削減できている。
	具体的内容	執務中に飲む飲料や昼食から出るプラスチック製品などを適切に分別することで廃棄物の削減を行う。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	PCの無線利用が可能になったことで、課内打ち合わせ、課内共有を図る際は極力自PCを持ち寄り紙資料の削減をすることができた。 また、定期的な庁内回議の資料についても紙のものは電子データに変更できるよう調整を図ることで定例的な紙資料の削減を実現することができた。
	具体的内容	データの共有は電子でのやり取りを基本とし、紙で印刷する際は「本当に印刷する必要があるか？」と立ち止まる癖を全職員が身につける。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

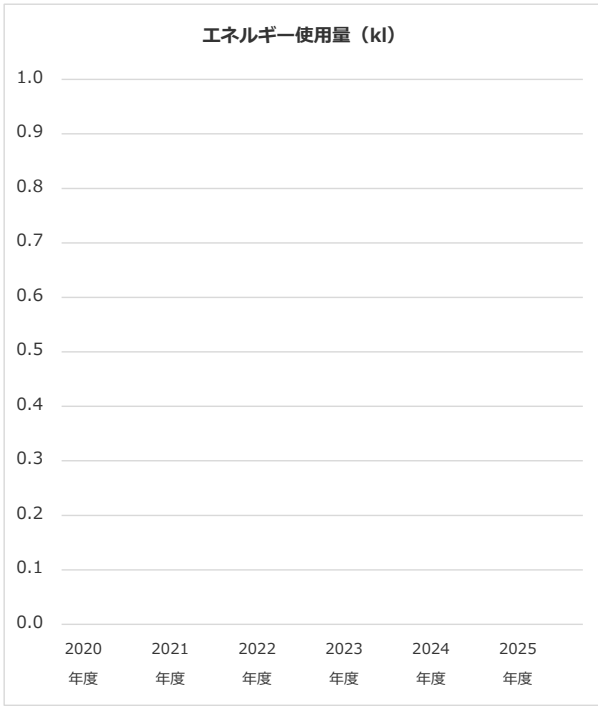
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、財政課における取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	書面にて実施した。
新任・異動者研修	(選択してください)	
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 8年 5月26日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
令和7年度は、庁内調整業務が多い財政課の特性をとらえ、照会事務の効率化、庁内打ち合わせの無線PC利用を推進することで、エネルギー使用量の削減及び資源の有効利用について行動できたと認識している。	照会事務の効率化について引き続き進めるとともに、廃棄物、資源を極力出さないよう職員一人一人が意識的に取り組めるように進めていきたい。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和8年5月29日

部局等名	経営総務部	課かい名	資産経営課	推進責任者氏名	鈴木 貴之
------	-------	------	-------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	BEMSを活用し、庁舎内における冷暖房の温度管理を徹底した。また、公用車のエコドライブ推進について、職員へ周知徹底を図った。
	具体的内容	BEMSを活用し、建物エネルギーや室内環境を把握し、省エネルギー化を図る。また、エコドライブの推進により、ガソリン・軽油の使用量削減を図る。	
2	取組項目	C. 廃棄物の削減	資源物の分別等の周知徹底を図るとともに、総合管理業務委託の委託者である湘南美装とも情報を共有した。
	具体的内容	庁舎内の「古紙類」や「プラスチック類」等の分別を促進するため、関係課と連携し、職員へ周知徹底を図る。	
3	取組項目	D. 環境配慮契約	電力の調達について、現在の契約期限(令和8年6月末まで)終了後も、引き続き再生可能エネルギーでの調達を目指すことで、市の温室効果ガスの排出削減を行った。
	具体的内容	電力の調達について、引き続き再生可能エネルギーでの調達を目指すことで、市の温室効果ガスの排出削減を行う。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

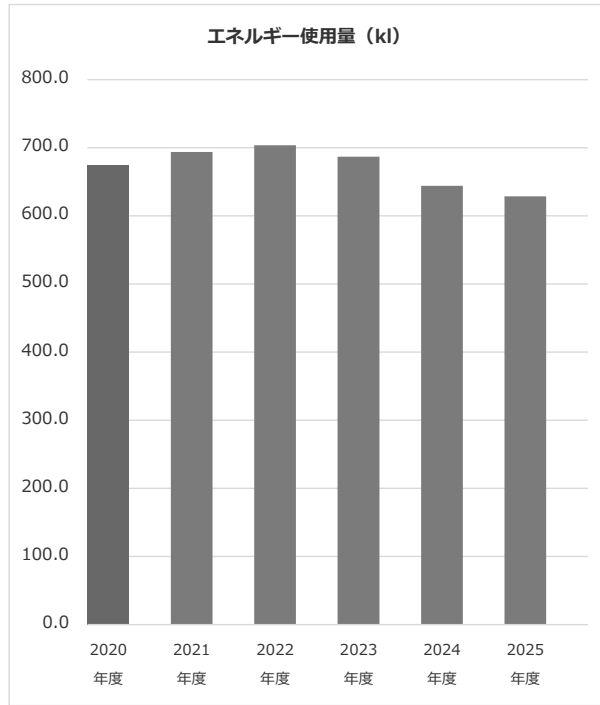
実績	前年度比	-2.4%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	本庁舎・分庁舎の照明をLED照明器具へ切り替えたため。また、BEMSを活用し、庁舎内における冷暖房の温度管理を徹底したため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	26147.0	26891.6	27271.0	26628.0	24967.0	24370.0
エネルギー使用量(kl)	674.6	693.8	703.6	687.0	644.1	628.7
対前年度比(%)	—	2.8%	1.4%	-2.4%	-6.2%	-2.4%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	庁舎	計画	空調フィルターの清掃を2回/年実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を2回/年実施した。
2	庁舎	計画	冷暖房設定温度管理を徹底する。
		実績	冷暖房設定温度管理を徹底した。
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	書面にて課内供覧を行い、全体共有を図った。 C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認し、取組目標及び具体的な取組を検討して設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	書面にて課内供覧を行い、情報共有を図った。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和8年5月29日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
職員一人一人の自覚及び総合管理業務委託の委託者である湘南美装との情報共有によって、エネルギー使用量を対前年度比で2.4%削減し、全庁目標である「エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減」に貢献したほか、資源物の分別等の周知徹底を図り、廃棄物を削減した。	朝礼などの様々な機会を通じて職員の意識を醸成し、引き続き湘南美装とも情報共有することで、エネルギー使用量の削減に努める。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和8年5月18日

部局等名	経営総務部	課かい名	契約検査課	推進責任者氏名	寺島 薫子
------	-------	------	-------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	打合せ等での離席時や昼休み中、パソコンのスリープモードを活用し、消費電力の削減を図った。引き続き、ウイルスパターンの更新時等を除き、積極的に取り組んでいく。
	具体的内容	パソコンを長期間使用しないとき(離席時や昼休み等)は、パソコンのふたを閉じ消費電力を削減します。	
2	取組項目	C. 廃棄物の削減	契約事務における変革(①令和4年度の電子契約サービスの導入②電子入札システムの全庁への運用拡大③令和7年度の電子保証の導入)を通じ、紙資料の使用削減等、カーボンニュートラルへ貢献している。また、工事検査・契約手続書類等の電子化により、庁内及び庁外の負担軽減を行った。引き続き、庁内だけではなく庁外を含めた普及へ取組を実施していく。
	具体的内容	全庁の電子入札・電子契約の利用をさらに推進し、事務作業の電子化を進め、廃棄対象となる紙資料の使用を削減するとともに、工事検査・契約手続書類等の電子化により、庁外を含めた負担軽減を行います。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	裏紙の利用や使用可能な物品のリサイクルを推進した結果、資源の有効利用を通じ、廃棄物の削減にも貢献できた。引き続き、積極的に取り組んでいく。
	具体的内容	裏紙の利用や使用可能な物品のリサイクルを推進する等、現在ある資源を最大限利用します。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

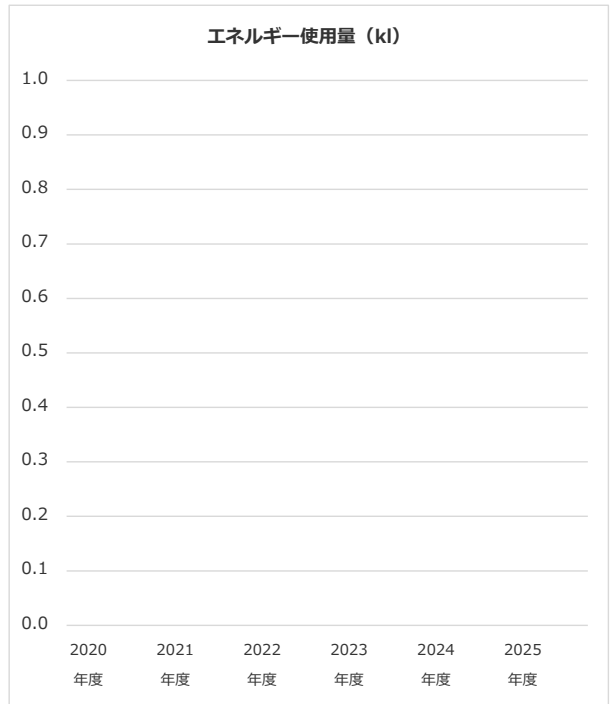
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	今年度の実施計画書を共有し、C-EMSに対する職員の意識向上を図りました。また、課の施策（①電子契約サービスの導入②電子入札システムの全庁への運用拡大）が、環境への貢献に直結することから、他課職員への指導推進など、確実な施策実施のため意識向上を図った。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	0
新任・異動者研修	(選択してください)	
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和8年5月18日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
<p>職員個々の環境への意識も高まっており、取組目標に対して、概ね達成していると考えられる。また、課の施策（①令和4年度の電子契約サービスの導入②電子入札システムの全庁への運用拡大③令和7年度の電子保証の導入）を通じ、環境への大きな貢献ができたと考えられる。</p>	<p>課内におけるエネルギー使用量の削減、資源の有効利用に取り組んでいくとともに、各課かいにおける電子契約サービス、電子入札システム利用を推進し、入札契約事務における廃棄物の削減を図る。また、近年の気候変動リスクへの対応として、工事事業者に対する熱中症リスク周知のため、啓発パンフレットを配布し、リスク対応の推進を図る。</p>